

三宅島

○概況（平成17年3月）

引き続き山頂火口から火山ガスの放出が続いている。

今期間噴火は発生していません。山頂火口からは多量の火山ガス放出が継続しています。火山性地震は、12日に59回、19日に21回観測されましたが、その他の日は少ない状態でした。地殻変動観測の傾向には変化はみられません。

以上のように、火山活動は、全体として大きな変化はありません。

今後も山麓に降灰をもたらす程度の小規模な噴火の可能性はあります。また、二酸化硫黄を含む多量の火山ガスの放出はしばらく継続すると考えられますので、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。また、雨による泥流にも注意が必要です。

表1 三宅島 火山情報発表状況

火 山 情 報 名	発 表 日 時	概 要
火山観測情報第117号 ↓(1日2回発表)	1日 09:30 ↓ 31日 16:30	噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想
火山観測情報第178号		

○火山ガス噴出活動

二酸化硫黄の放出量*は、2002年秋以降、1日あたり3千～1万トン程度で横ばい傾向が続き、2004年秋以降、1日あたり2千～5千トン程度とやや少なくなっていますが、依然として多い状態が継続しました(表2、図1)。

*陸上、海上及び航空自衛隊、海上保安庁、東京消防庁、警視庁の協力による観測。

表2 三宅島 二酸化硫黄の放出量と火口内最高温度の観測結果

観測実施日	二酸化硫黄放出量(日量)	火口内最高温度	協力機関
3月1日	3,300トン 2,400トン	150°C以上	陸上自衛隊
3月22日	3,900トン 4,300トン 3,600トン 4,800トン	87°C	海上保安庁

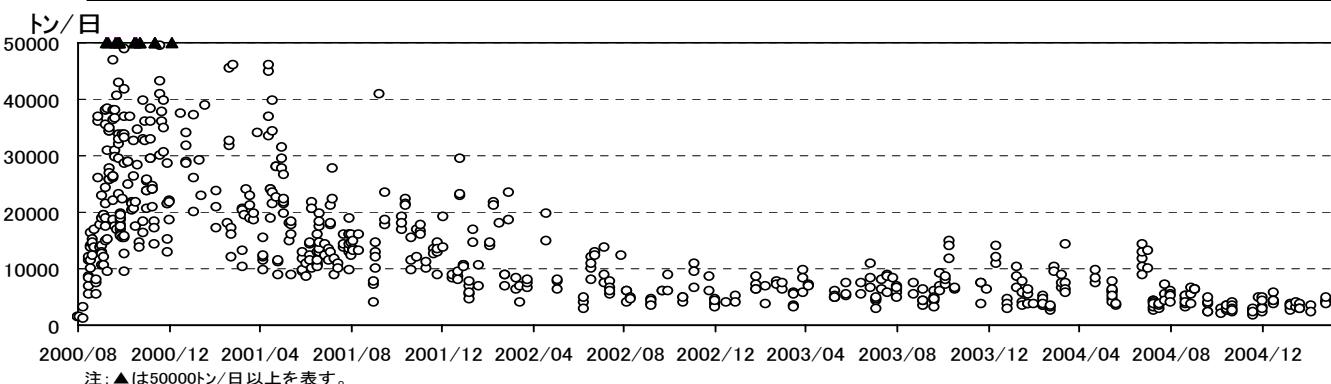


図1 三宅島 二酸化硫黄放出量(2000年8月26日～2005年3月31日)

○火口内の状況

上空からの観測*によると火口内の温度（表2、図2）及び形状に大きな変化はありませんでした。

*陸上、海上及び航空自衛隊、海上保安庁、東京消防庁、警視庁の協力による。

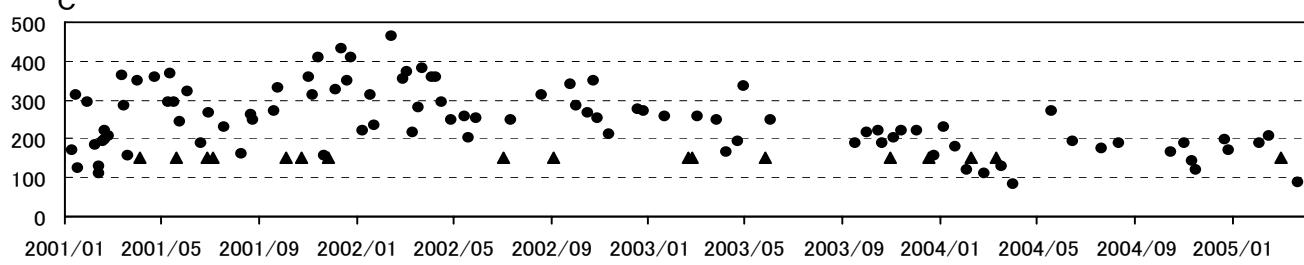


図2 三宅島 火口内温度(2000年8月26日～2005年3月31日)

○噴煙活動の状況

依然として活発な状態が続いています。

今期間、有色噴煙は確認していません。

白色の噴煙は連続的に噴出しており、高さの最高は火口上1,000m（1日）でした（図3）。

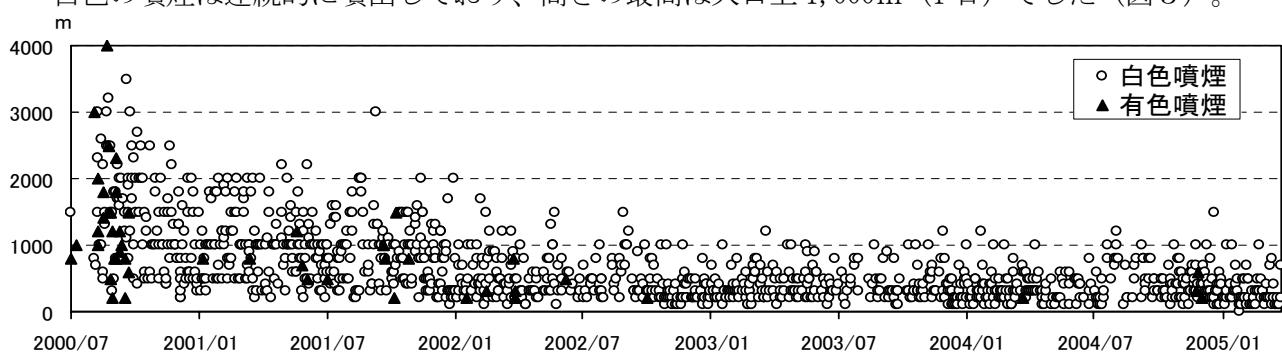


図3 三宅島 日最高噴煙高度(2000年7月8日～2005年3月31日)

○地震活動及び微動の発生状況

火山性地震は、12日の03～05時台にかけて一時的に増加し、当日は1日あたり59回観測されました。そのうち05時23分に発生した低周波地震では、三宅村神着、三宅村坪田で震度1、05時24分に発生した低周波地震では、三宅村神着で震度1を観測し、その後活動は収まりました。また、19日の09時～11時台にかけても一時的に増加し、当日は1日あたり21回観測されました。そのうち11時51分、11時53分に発生した低周波地震では、三宅村神着で震度1を観測し、その後地震は減少しました。これらの地震活動の間、噴煙活動等に特に変化はみられませんでした。その他の日は地震は少ない状態でした（表3、図4）。

2000年7月から続いている連続微動の振幅は、ノイズレベル以下まで小さくなりました。

表3 三宅島 火山性地震日別回数表

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計
高周波地震	2	1	0	0	0	0	1	0	2	2	8
やや低周波地震	2	1	3	1	0	0	0	4	1	3	15
低周波地震	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計
高周波地震	1	0	2	0	0	0	0	3	1	2	9
やや低周波地震	4	52	0	1	1	2	0	2	21	1	84
低周波地震	0	7	0	0	0	0	0	0	3	0	10
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日 旬計 月計
高周波地震	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1 2 19
やや低周波地震	1	1	5	3	1	3	1	3	1	0	6 25 124
低周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 11

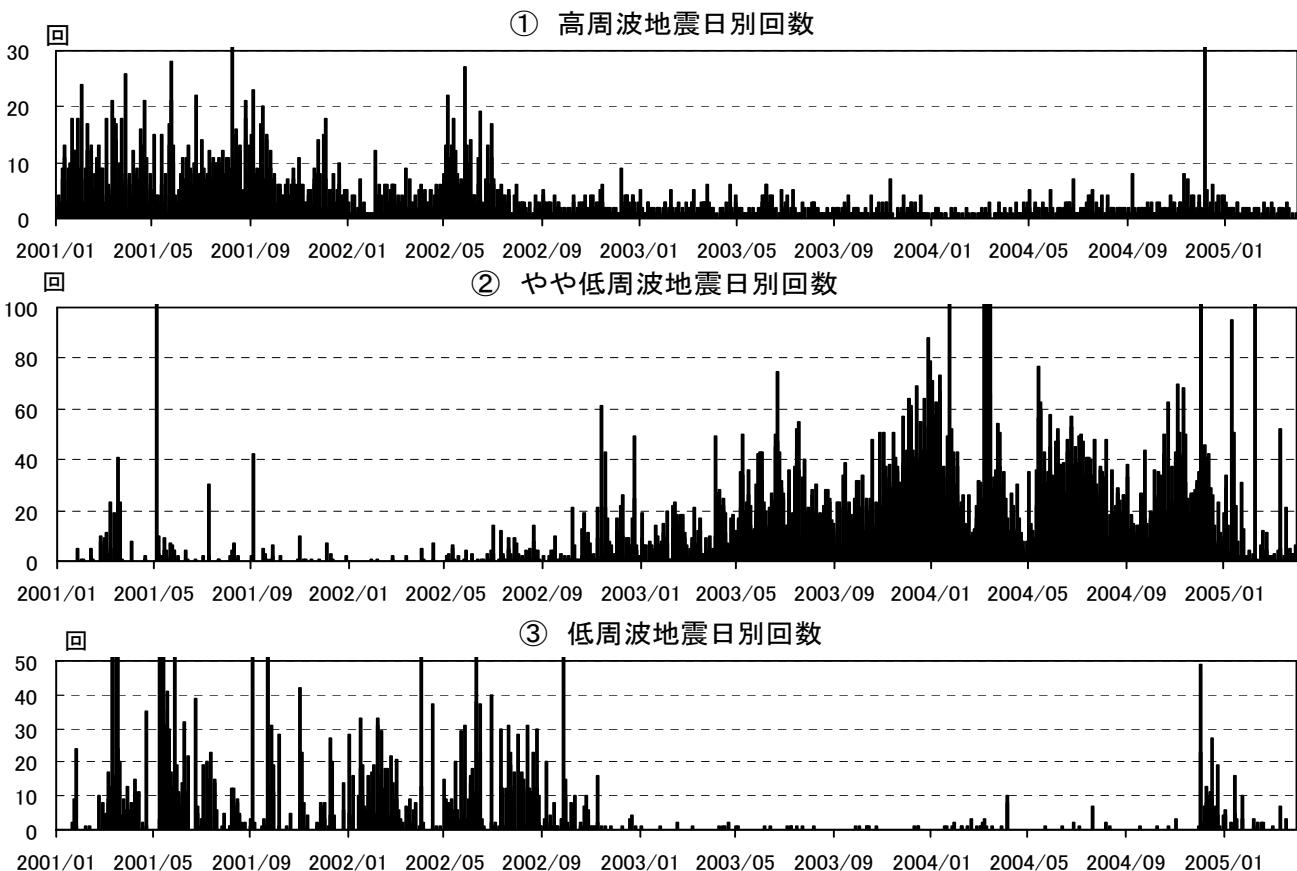


図4 三宅島 火山性地震日別回数（2001年1月1日～2005年3月31日）

○地殻変動の状況

地殻変動観測の傾向には変化はみられません（図5）。

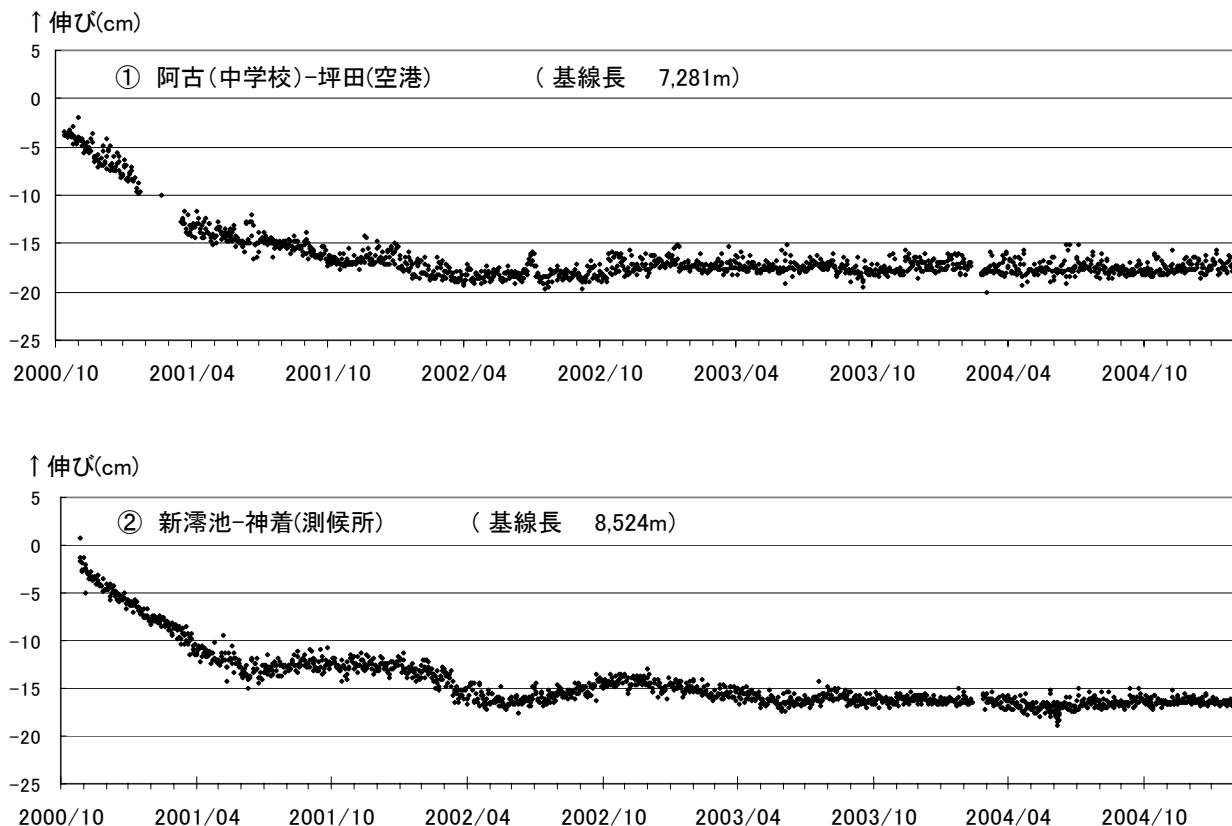


図5 三宅島 GPS観測結果(基線長変化) (2000年10月1日～2005年3月31日)

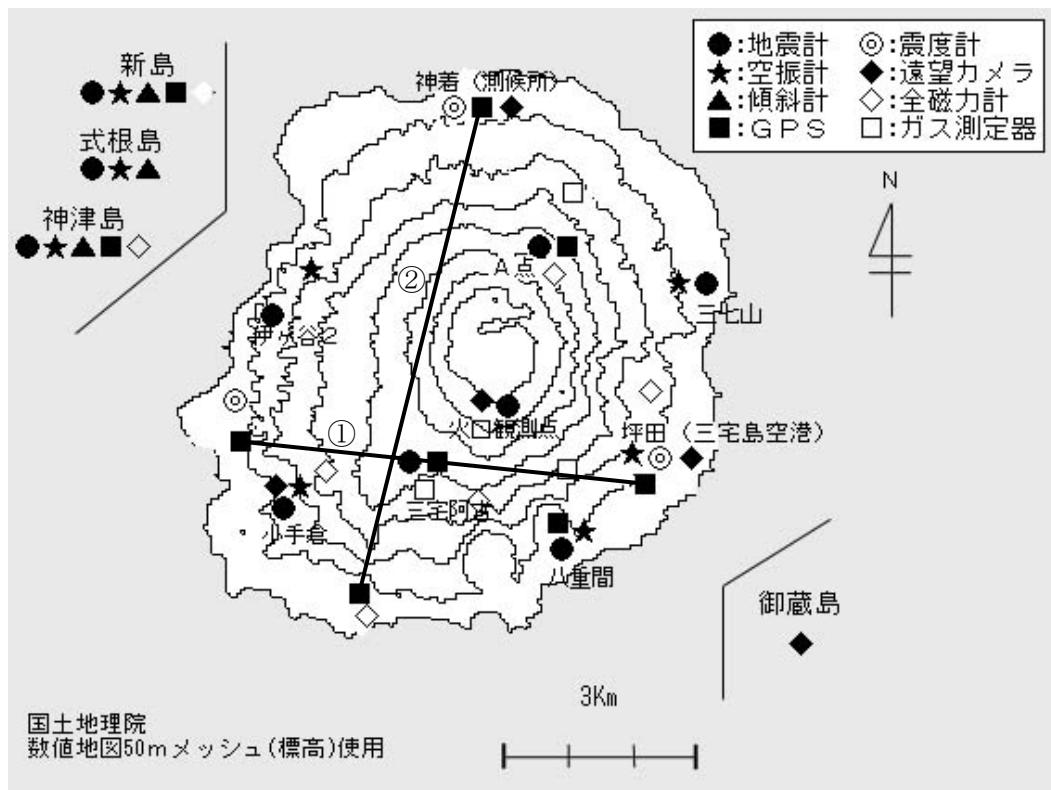


図6 三宅島 気象庁の観測点配置図